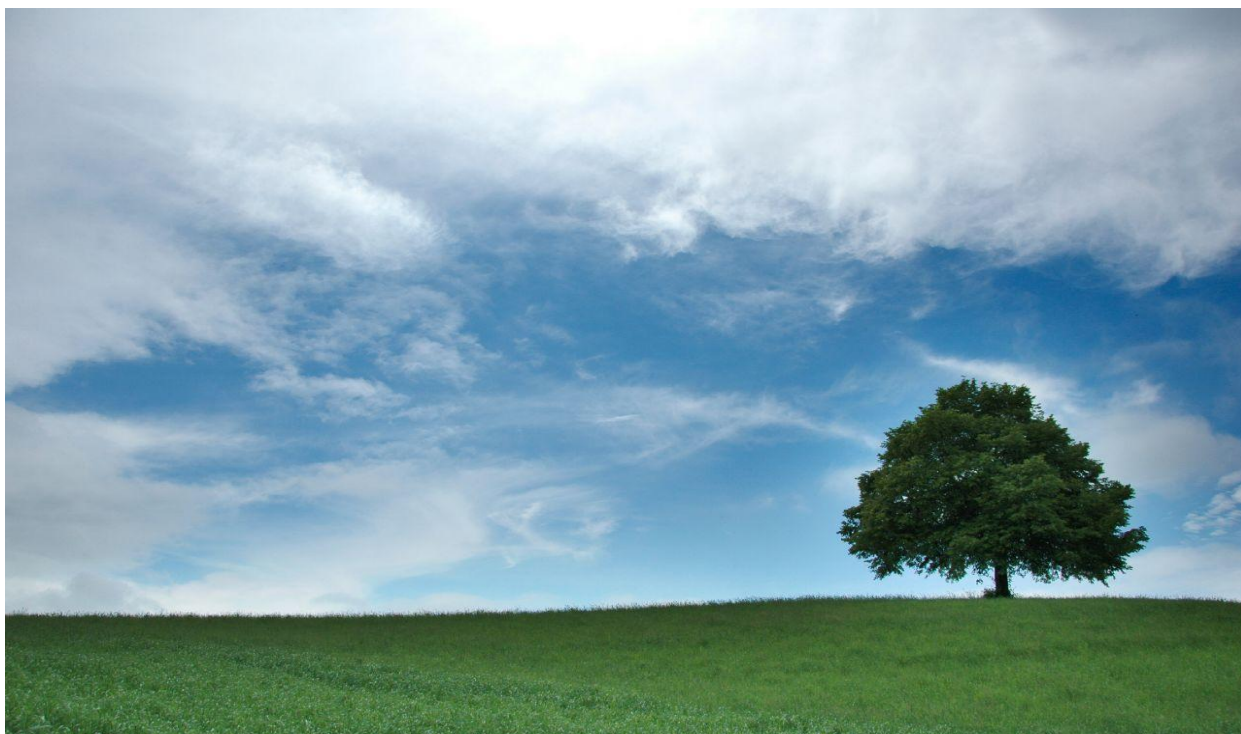


エイム電子株式会社

# エコアクション21環境活動レポート

2016年10月 ~ 2017年9月



発行日2017年10月13日

改訂日2017年10月27日

～目次～

■組織の概要	1
■対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	1
■環境方針	2
■環境目標	3
■環境活動計画	4
■環境目標の実績	5
■取組結果とその評価、次年度の取組内容	6
■環境関連法規制の遵守状況	7
■代表者による全体評価と見直し	7

**AIM**  
AIM ELECTRONICS

# 1.組織の概要

## 1)事業所名及び代表者名

エイム電子株式会社 代表取締役 中山栄志

## 2)所在地

本 社 : 〒252-0327 神奈川県相模原市南区磯部1353  
物流センター: 〒252-0336 神奈川県相模原市南区当麻1107-20

## 3)環境管理者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者: 経理部長 松島広晃  
担 当 者 : EA21事務局 西田  
連 絡 先 : 電話 046-253-9881  
FAX 046-252-7572

## 4)事業の活動内容

認証・登録対象活動

ネットワーク用、AV用ケーブル及び周辺機器の製造・輸入販売

## 5)事業の規模

活動規模	単 位	H26年度	H27年度	H28年度
売上	百万円	987	975	1,080
従業員	人	65.8	64.1	64.6
床面積	m <sup>2</sup>	755	755	755

# 2.対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

## 1)認証・登録範囲

全組織、全活動、全従業員  
本社及び物流センター(全社、全活動を含む)

## 2)レポートの対象期間及び発行日

期 間: 平成28年10月1日～平成29年9月30日

発行日: 平成29年10月13日

改訂日: 平成29年10月27日

### 3.エイム電子環境方針

#### [理念]

当社は経営理念に「地球環境と社会に貢献する」を掲げ、地球環境問題への取り組みが企業経営における重要課題の一つであると認識し、地球環境に配慮した事業活動に積極的に取り組んで参ります。

#### [方針]

- 1) 事業活動の全域で省エネルギー、廃棄物削減、節水の推進に努めます。
- 2) 環境保全に配慮した製品の製造及び資材の購入に努めます。
- 3) 環境マネジメントシステムの継続的な維持向上に努めます。
- 4) 当社の活動に係わる環境関連法規、その他の要求事項を遵守します。
- 5) オフィス用品のグリーン購入を推進します。
- 6) 環境方針を全従業員へ周知させるとともに環境教育及び啓発に努めます。

平成29年10月1日  
エイム電子株式会社  
代表取締役  
中山栄志

## 4.環境目標

項目		H27年度	H28年度		H29年度	H30年度
		実績 (基準値)	目標	実績値	目標	目標
CO2排出量(kg-CO2)		61,181	60,649	61,479	58,123	57,764
前年比削減率(%)		3.8%	-0.9%	0.5%	-5.5%	-0.6%
二酸化炭素排出量削減	本社電力(kwh)	51,427	50,347	54,481	49,749	49,251
	前年比削減率(%)	2.1%	-2.1%	5.9%	-8.7%	-1.0%
	倉庫電力(kwh)	36,330	36,148	40,060	36,175	35,813
	前年比削減率(%)	0.1%	-0.5%	10.3%	-9.7%	-1.0%
	化石燃料	ガソリン燃費(km/ℓ)	19.10	19.29	17.77	18.30
	前年比向上率(%)	12.8%	1.0%	-7.0%	3.0%	3.0%
排水量削減(m <sup>3</sup> /人)		4.92	4.90	5.12	5.07	5.02
前年比削減率(%)		-6.1%	-0.5%	4.1%	-1.0%	-1.0%
コピー紙購入量削減(kg)		824	820	838	834	830
前年比削減率(%)		-5.1%	-0.5%	1.7%	-0.5%	-0.5%
一般廃棄物排出量削減(kg)		1,869	1,573	2,113	2,092	2,071
前年比削減率(%)		18.8%	-15.8%	13.1%	-1.0%	-1.0%
産業廃棄物リサイクル率/ (H28~)産業廃棄物の削減 産業廃棄物の適正管理		100%	100%	100%	100%	100%
グリーン商品の購入推進(%)		66	67	57	60	63
環境に配慮した製品作り 及び資材の購入		RoHS比率 98.2%	RoHS比率 98.3%	RoHS比率 98.2%	RoHS比率 98.3%	RoHS比率 98.4%
防災対策		実施	防災・災害後 対策強化	実施	防災・災害後 対策強化	防災・災害後 対策強化

※ 化学物質の使用無し。

※ CO2排出係数は東京電力の”二酸化炭素排出係数=0.418”を使用。

※ リサイクル率は重量計測で排出する産業廃棄物で計算します。(99%以上が該当)

※ 産廃の適性管理=産業廃棄物管理票交付、管理及び行政への報告、  
産業廃棄物委託契約書の締結、産業廃棄物排出量(リサイクル量)の把握

## 5.環境活動計画

### (1) 二酸化炭素排出量削減

#### -1 電気使用量削減

- ・クールビズの励行、卓上ファンの配布
- ・ウォームビズの励行、足温器の配布
- ・太陽光発電の導入
- ・エアコンの定期清掃による効率アップ
- ・待機電力カットの強化
- ・省エネ意識啓蒙イベントの実施

#### -2 ガソリン使用量削減

- ・運転時の排気ガス削減方法を社内に告知

### (2) 排水量削減

- ・節水ポスターの見直し
- ・社内へ節水方法をメール配信

### (3) コピー紙購入量削減

- ・裏紙利用の促進、ルール再確認
- ・社内書類のペーパーレス化推進

### (4) 一般廃棄物排出量削減

- ・一般ゴミの分別の徹底
- ・廃棄品の定期処理
- ・清掃工場見学による活動チームの知見向上

### (5) 産業廃棄物削減

- ・産業廃棄物の適正管理

### (6) グリーン購入比率向上

- ・定期購入品でグリーン対象外製品をピックアップし、グリーン製品への切替を図っていく。

### (7) 環境に配慮した製品作りと資材の購入

- ・当社で選択しうる部材、製品についてはRoHS対応する
- ・RoHS非対応、不明在庫品については対応品への入替を進める

### (8) 防災対策への取り組み

- ・防災グッズの点検、充実化
- ・非常食、飲料水の点検、充実化
- ・避難訓練の実施
- ・防災関連イベント等へ参加し、防災対策の充実化を図る

以上

## 6. 環境目標の実績

今年度の環境保全活動が終了し、社長と環境管理責任者が環境への取組結果の評価を行った。評価結果は次の通りである。

No.	推進項目	単位	責任者	年度目標	年度実績	評価
1	二酸化炭素排出量削減		松島	60,649	61,479	×
		kgCO2				
1-①	二酸化炭素排出量削減 本社電力	kwh	野村	50,347	54,481	×
1-②	二酸化炭素排出量削減 倉庫電力	kwh	野村	36,148	40,060	×
1-③	二酸化炭素排出量削減 ガソリン燃費	km/ℓ	野村	19.29	17.77	×
2	排水量削減	m3/人	野村	4.90	5.12	×
3	コピー紙購入量削減	kg	松島	820	838	×
4	一般廃棄物排出量削減	kg	小池	1,573	2,113	×
5	産業廃棄物の適性管理推進		小池	リサイクル100%	リサイクル100%	○
6	グリーン商品の購入推進	%	元木	67	57	×
7	環境に配慮した製品作り		松島	RoHS比率 98.3%	RoHS比率 98.2%	×
8	防災対策		伊関	防災・災害後 対策強化	実施	○

※ △=削減したが、目標には達せず

※1 数値目標の無いガソリン、LPGのCO2排出量は前年度並みとして年度目標を計算

## 7.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

①売上増加に伴う稼働時間の増加、夏場の気温が前年比より上昇したこと、熱暑対策で物流センターにスポットクーラーを増設したこと、LED照明の導入が9月半ばにずれ込んだこと等により目標は達成出来ず。

悪条件下ながら僅かな増加に留められた事は地道な活動の成果と評価したい。

●従来の省エネ施策を引き継ぎ、電力使用量の増加を抑えたい。

来期はLED照明の効果が通期で出るため、大きな削減を実現したい。

②ガソリン車の燃費が大きく低下し、目標を達成することが出来なかった。

業務が多忙であったため、近距離移動が多かったことが原因と思われる。

ハイブリッドカーの使用は前年の50%から54%に向上した。

一方、走行距離が低下したため、CO2の排出量は抑えることが出来た。

●引き続き、低燃費車の使用を励行し、燃費の改善を図りたい。

②稼働時間の増加、夏期のグリーンカーテン実施等により

目標を達成出来なかったが、やむを得ないとする。

●今後大きな節水は望めないが、引き続き、節水意識の啓蒙を続けたい。

③目標は達成出来なかったが、売上の増大の割には低い上昇に留まった。

書類のペーパーレス化は全社的に浸透しており、その成果と評価したい。

●社内書類、手続きのペーパーレス化を推進したい。

④分別方法が分かりにくいもののリサイクル方を明確化するなど、

ゴミ削減活動を推進したが、大幅にゴミが増加してしまった。

業績好調による稼働時間増加の影響と思われる。

●引き続きリサイクルの周知徹底を推進します。

⑤当社の産業廃棄物は再生可能品は総て分別し、リサイクルしている。

●今後も分別の徹底を続けます。

⑥グリーン対象品の大口購入が減ってしまい、目標値を達成することが出来ず。

●定期購入品のグリーン商品への切替を推進していきたい。

⑦RoHS非対応品の在庫額は減小したが、対応品がそれ以上に減少したため、比率的には非対応率が上がってしまい、目標達成は出来ず。

●代替品が無い場合を除き、対応品の購入を維持する。

⑧計画通りに防災対策を進めることが出来た。

また、市主催の防災セミナーに参加し知見を高めることが出来た。

●有事に備え、更に防災対策の充実を図りたい。

⑨代表者の前期指摘事項に対する取組について

1)適切な職場環境の維持について

物流センターにスポットクーラーを設置し、熱暑対策を行った。

## 8.環境関連法規制の遵守状況

内 容	過去3年から現在までの結果
遵守状況の確認 及び評価結果 法律違反の有無	2017年10月23日 環境関連法規等の取りまとめ一覧をもとに遵守状況をチェックした結果、報告遅れが1件ありましたが、その他では取り決められたことが確実に守られていました。また、違反は、ありませんでした。
訴訟の有無	なし

## 9.代表者による評価と見直し

### 環境目標の達成状況について

残念ながら数値目標は殆ど達成出来なかったが、業績が前年比111%と好調で稼働時間が1年を通して増大してしまったが、電気使用量や紙使用量はそこまで伸びておらず、CO2排出量は前年比+0.5%と微増に留まったのは日頃の活動の成果と評価したい。地道な活動を続けて欲しい。

### 来期への取り組みについて

- ①省エネ意識を向上させるイベントを実施してはどうか
- ③社内書類のペーパーレス化を推進して欲しい
- ⑧防災への取り組みを更に強化して欲しい

### 環境方針・環境目標・環境活動計画および環境経営システムについて

取り組みの成果が着実に出ていることから、変更の必要性はないものと判断する。

2017年10月24日  
エイム電子株式会社  
代表取締役 中山栄志